

絵入本ワークショップXIV in Ulsan

1. 第14回絵入り本ワークショップの概要

- 日時：2024年12月21日（ワークショップ）、22日（文学散歩「蔚山の中の日本」）
- 場所：韓国・蔚山大学 14号館105号・218号（発表会場）、20号館317号（文化体験）
- 発表時間：30分（発表20分＋質疑応答10分）

2. プログラム

発表会場1：14号館218号室（メイン会場、講演）

時間		発表・講演
9:30	受付	—
9:50	開会式	ご挨拶
10:00~10:30	発表①	松原哲子 「初期草双紙の典拠と構成—五冊物や序文を付した作品から考える—」
10:30~11:00	発表②	孫貞娥 「江戸視覚文化におけるモビリティ—文学・情報・身体を中心に—」
11:00~11:15	休憩	—
11:15~12:00	講演	クリストフ・マルケ 「広重の団扇絵—パリのジョルジュ・レスコヴィッチ財団のコレクションを中心に—」
12:00~13:30 (12:30~14:00)	お昼 文化体験	— 20号館317号にて文化体験 「香道」小畑洋子 「紙×顕微鏡」松原哲子
13:30~14:00	発表③	エスカロナ エチャニス ホセ マヌエル 「『亜墨新話』における守住貫魚の挿絵—筆写過程と異文化伝達機能の考察—」
14:00~14:30	発表④	宮本祐規子 「浮世草子と挿絵」
14:30~15:00	発表⑤	洪晟準 「近世の絵入本—挿絵と文字の融合—」
15:00~15:30	休憩	—
15:30~16:00	発表⑥	李俊甫 「絵本化された中国兵書—中村経年『絵本孫子童観抄』をめぐって—」
16:00~16:30	発表⑦	波瀬山祥子 「大岡春卜と朝鮮通信使—『家彪集』の画題をめぐって—」
16:30~17:00	発表⑧	劉順英 「朝鮮に流入した中国画譜—蔵書印のある木版本を中心に—」

17:00~17:30	総会	
17:30~	懇親会	—

発表会場 2 : 14号館105号室

時間		発表・講演
9:30	受付	—
9:50	開会式	ご挨拶
10:00~10:30	発表⑨	高倉永佳 「徳川将軍家任官儀礼装束の文様について —御小直衣の実寸絵形の考察—」
10:30~11:00	発表⑩	大和あすか 「浮世絵版画における青・緑・紫色箇所のパルシアンブルー使用の比較研究：江戸錦絵と上方絵を中心に」
11:00~11:15	休憩	—
11:15~12:00	講演	
12:00~13:30 (12:30~14:00)	お昼 文化体験	— 20号館317号にて文化体験 「香道」小畑洋子 「紙×顕微鏡」松原哲子
13:30~14:00	発表⑪	趙洙江 「新版画絵師エリザベス・キースの「中国風俗」を描いた作品について —《中国の女性(Chinese Lady)》(1934)を中心に—」
14:00~14:30	発表⑫	ブルナ・ルカーシュ 「幻の「日本」に魅了されて—近代チェコ文学のイラストにみるジャポニズムの表象」
14:30~15:00	発表⑬	崔泰和 「19世紀日本とイギリス小説の挿絵を使った広告について」
15:00~15:30	休憩	
15:30~16:00	発表⑭	洪聖牧 「イラストから見る日本の神々のイメージ」
16:00~16:30	発表⑮	古明地樹 「古碁画『類姓草画』出板考」
16:30~17:00	発表⑯	吉丸雄哉 「忍者の印とその定着」
17:00~17:30	総会	
17:30~	懇親会	